

たじみマイレージのアプリ開始

歩いて健康、景品ゲット

多治見市とバローホールディングス(HD)は、市の健康増進事業「たじみ健康マイレージ」のポイントスマートフォン歩数計測機能でためられるアプリの運用を始めた。歩数に応じて景品が当たる抽選に応募できる仕組みで、官民連携で健康増進を図る。

(稲木悠司)

たじみ健康マイレージをためられる機能が付いたルビットアプリ。多治見市音羽町、市役所北庁舎



アプリのキックオフイベントでウォーキングを楽しむ参加者＝同所

両者が2022年に締結した「総合的健康パートナーシップ連携に関する協定」に基づく事業。同マイレージは参加者自身が健康づくりの目標を立てて実現していく制度だが、最後は応募用紙に記入し

市とバロー連携 自動計測、節目で応募権

て市に提出する必要がある。た。

より手軽に参加できるようにするため、バローHDが運用する「ルビットアプリ」に追加する形で新機能を実装した。アプリ利用者がスマートフォンを持ち歩くことで、自動で歩数が計測されポイントがたまる。10万歩、50万歩、100万歩の節目で抽選の応募権が1回ずつ得られ、バロー商品券や市内特産品など約30品目が当たる。市内在住、在勤が参加条件。抽選には従来通りの応募用紙でも参加できる。

市役所北庁舎(同市音羽町)で1日に開かれたキックオフイベントで、高木貴行市長は「適度な運動を一緒に楽しみながら健康を維持、推進したい」とあいさつ。バローHDの小池孝幸社長は「皆さんの健康の一助となり恩返しができればうれしい」と述べた。

イベントではJR多治見駅周辺のウォーキングや、食品メーカーのブース出展などが行われた。